

保護者各位

2月の園だより

令和6年1月25日

第一早蕨幼稚園

園長 生田 増美



冬とは思えない明るい日差しに惑わされたのか、暖冬の影響なのか、今年は園のパンジーが、春を待たずして、たくさんの花を咲かせています。間もなく立春。園では豆まきをしたり、豆を食べたり(満3・年少・年中は豆を持ち帰ります。)して春の訪れを待ちます。そして、今も苦難の日々を送っている被災地の方々のためにも、一日も早く春が訪れてくれることを願いながら、思いを馳せる日々です。

立春を過ぎると、園では年度終わりの行事が続きます。年少・年中組は音楽会、年長組は保護者の方をお招きして、お茶会や音楽会、お別れ会があります。また、一年を振り返り、個別懇談会(希望制)を行い、今後に活かしていきたいと思います。何となく慌ただしい日々ではありますが、友達との関係が深まる時期でもありますので、様々な体験を通して、楽しい日々が続くよう、大切に過ごしていきたいと思えます。



「育ててくれてありがとう！」

狭い車の中で、親子紛争勃発中、運転をしながら後部座席の息子と孫(満3歳児)の言い合いを聞いています。「やだ!今がいい」「だからね。今から〇〇に行かなくちゃいけないから、家に帰ってからね」「やだ!」「絶対にやだ!」「だからね・・・」延々と続く紛争に「やれやれ」と思いながら、同じやり取りが繰り返されるのを聞いています。「やだ!」の応酬に少しづつ言葉を変えたり、代案を出したりしながら返事をする息子。私は、15年ほど前の少し苛立った短気な様子の息子を思い浮かべていました。甘やかして育てた末息子、かまひすぎたためか反抗期が長く、私たちとの応酬に「うるさい!」の一言を残して、自室に駆け込んでいました。それが今は、祖母の私ですらうんざりするほどの孫のイヤイヤ姫に怒ることなく、延々と対応しているではありませんか。「育ってきたんだね」という祖母のつぶやきにさえ「いや!」と叫ぶ孫姫の声を聞きながら「育ってきたね。我が息子!」です。車の中のそんな様子を夫に報告しながら、「頑張って育てたね、私たち・・・」晩酌の美味しい夜でした。

「子育ては、親育ち」という言葉があります。子育て中は、子どもに振り回され、うんざりすること、疲れることが続く日々です。時には、声をあげて叱りたくなる日もあって当然。でも、心に余裕がある日は少し立ち止まって、子どもとの真剣勝負の根競べを試みるのも良いかもしれません。そして「あー。育っているな、自分!頑張っているな、自分!」と自画自賛してみるのもいいかもしれませんね。

ちなみに車の中の紛争は、いやいや泣きながら、眠ったイヤイヤ姫の負け。最後まで落ち着いて声をかけていた息子に軍配をあげました。「イヤイヤ姫、我が息子を育ててくれてありがとう」。そんなば一ぱのにぎやかな休日でした。